

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：2年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男子は、特に立ち幅跳びのすばやく動き出す能力である瞬発力に優れている。
- 女子は、特に長座体前屈で回る柔軟性が優れている。
- 男女とも、20mシャトルランの運動を持続する能力や、ボール投げの巧緻性に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 保健体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・友だちとポイントや技のコツを教え合える学び合い活動の設定。
- ・体の基礎を作るために、毎日の授業で、補強運動の時間を設定。
- ・本時の目標とそれを振り返る時間の設定と、自己評価ができる時間の設定。

②改善を図る点

- ・体の基礎作りのための毎日の補強運動を継続して行うこと。
- ・ICTの活用を行い、動きの分析を行う活動の設定をすること。
- ・さらに生徒自身が主体的に学べ、「できた」「楽しい」を味わうことのできる単元構成を行うこと。

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・日頃から運動への意識を向上させていくために、体力テストの結果を定期的に振り返り、自分の体力の課題に気づかせる。
- ・さまざまなスポーツへの関わり方を学習し、スポーツへの関心を持たせる。
- ・食事の大切さを保健の授業で指導し、家庭への呼びかけを学校全体で行っていく。